

監査報告書

2024年5月10日

社会福祉法人光明童園
理事長 堀 浄信様

監事

園村静夫 

私は、社会福祉法人光明童園の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）における理事の業務の執行状況及び事業報告等について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査日時 2024年5月10日（金） 午前8時30分より

2 監査場所 児童養護施設光明童園 紫光ホール

3 監査の方法及びその内容

理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の状況を調査しました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

4 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

監査意見書

2024年5月10日(金)午前8時30分より、児童養護施設光明童園紫光ホールにおいて、社会福祉法人光明童園、児童養護施設光明童園、児童家庭支援センターオリーブの木、病児・病後児保育もくれん、ファミリーサポートセンターみなさぼ、支援対象児童等見守り強化事業、児童養護施設湯出光明童園、児童発達支援センターにここ、児童発達支援センター等機能強化事業、放課後等デイサービスハグ、相談支援事業所にじいろの2023年度事業報告について監査を実施し、それぞれの事業所の管理者及び担当者より、説明を受けた。

・児童養護施設光明童園においては、スローガンである「和顔愛語」を基調に運営され、「よろこびあえる光明童園」を目標に、職員が一丸となって利用者の支援に取り組む姿がうかがえた。また、新しい生活様式や感染症対策の徹底を図りながら、計画に沿った事業遂行にあっていた。さらには、中長期事業計画を見据え、事業運営と着実な実践の努力をうかがうことができた。

・湯出光明童園では、「子どもの笑顔のための大人の笑顔」をスローガンに、基本的人権の尊重のもと、明るく心の通い合う経営への努力がうかがえた。また、感染症対策を十分におこない、安全教育、情操教育や子どもに寄り添った支援の実施をうかがうことができた。

・児童発達支援センターにここでは、「来て良かった」と思えるセンターを目指して、地域の子どもやその家族に対しての努力がなされていた。地域における支援活動の充実がうかがえた。

・児童家庭支援センターオリーブの木では、「いのち」の大切さを基底に、子どもたちの「みらい」へ向けて支え合い、そして子どもや家庭からの相談対応等も充実させたいと願う職員の姿がうかがえた。

【まとめ】

感染症や安全への細やかな配慮・対応がなされ、それぞれの事業所が目標に向かって努力されていた。

子どもの健全な育成に向かって、各事業所の良好な運営がなされ、その中で職員の熱意ある取り組みとまとまりが感じられた。今後も、心をそろえて職務にあたることの大切さを常に確かめながら進めてほしい。様々な環境で育った子どもたちの「はぐくみ」に心に寄り添う努力が行われ、子どもたちが救われている。これからも大事な仕事をしているという誇りと喜びを持って、子どもたちの心を支え、育んでいただきたい。